

# 兵庫県下の経済動向

平成31年4月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

## 目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、緩やかに拡大している。  
輸出は増加基調にあり、個人消費は緩やかに持ち直している。  
また、設備投資は高水準で推移し、住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が前年を下回った。  
家電販売は、前年を上回った。  
乗用車新車登録台数は、前年を下回った。  
設備投資は、高水準で推移している。  
住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。  
公共工事請負金額は、前年を上回った。  
輸出は、中国を中心に増加し、前年を上回った。輸入については、前年を下回った。  
生産活動は、1月の鉱工業生産指数でみると、前年を下回った。  
雇用関係では、有効求人倍率は前月から横ばい、新規求人数は前年を上回った。  
また、12月の所定外労働時間、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を上回った。  
金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。  
企業倒産は、件数は前年を下回ったが、負債金額は前年を上回った。  
(特に断りのない限り計数は2月分)

### 兵庫C I及び兵庫D Iから見た県内の景気動向

1月の兵庫C Iは、先行指数 97.0、一致指数 106.5、遅行指数 101.5 となった。  
1月の兵庫D Iは、先行指数 28.6%、一致指数 0.0%、遅行指数 25.0% となった。  
兵庫C Iは、先行指数が2か月ぶりに前月差減、一致指数、遅行指数が3か月連続で前月差減となった。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、横ばい局面を示している。」としている。

<p>*兵庫D Iと兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。</p>
---

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

2月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は105.1、前月比3.4%増で4か月ぶりに上昇、出荷指数は105.1、同3.6%増で4か月ぶりに上昇、在庫指数は109.5、同3.0%増で2か月ぶりに上昇した。

原指数は、生産は前年同月比0.4%減で5か月ぶりに低下、出荷は同1.4%減で2か月ぶりに低下、在庫は同2.6%増で2か月ぶりに上昇した。

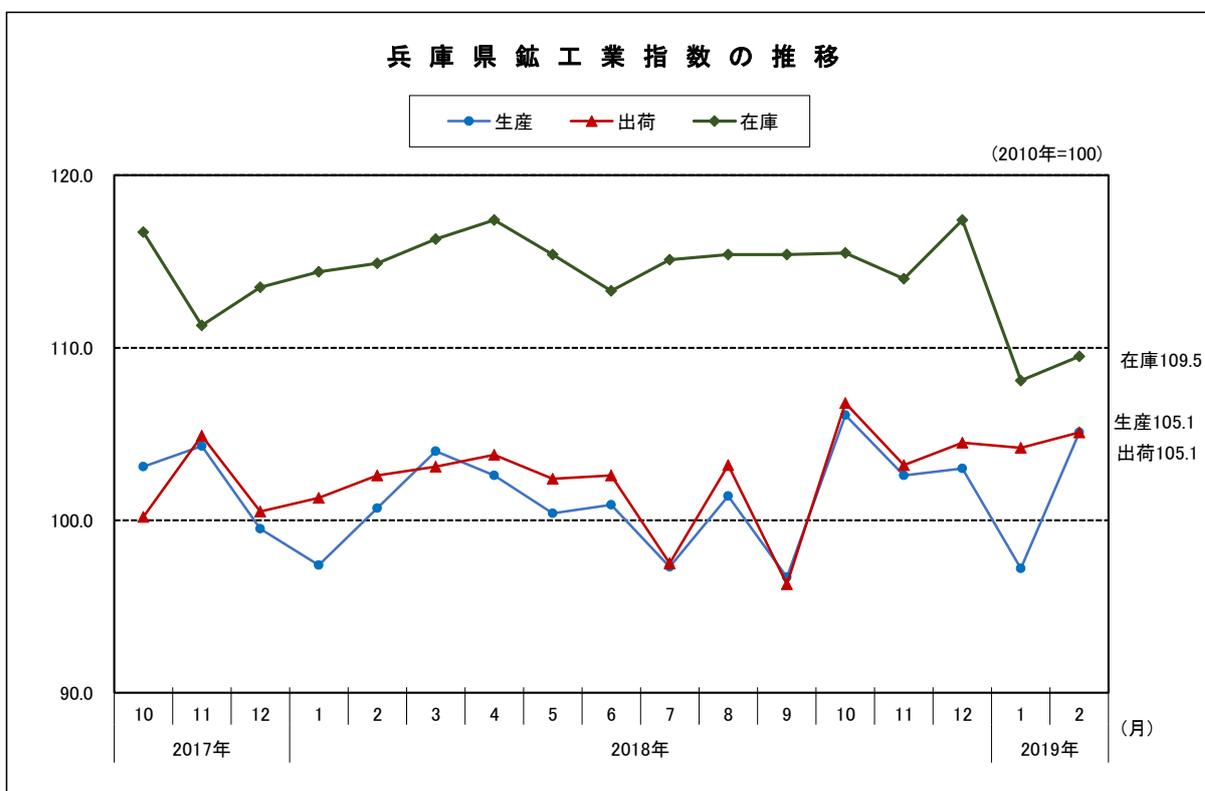
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、「金属製品工業」(ワイヤーロープ等)が6.2%、「生産用機械工業」(熱交換器等)が1.1%、「汎用・業務用機械工業」(汎用内燃機等)が8.1%、「電気・情報通信機械工業」(一般用タービン発電機等)が14.4%、「化学工業」(医薬品等)が13.9%各々増加し、「鉄鋼・非鉄金属工業」(特殊鋼熱間圧延鋼材等)が0.1%、「輸送機械工業」(航空機用発電機部品等)が8.6%、「窯業・土石製品工業」(無アルカリガラス基板等)が6.9%、「食料品工業」(ビール等)が1.1%各々減少した。

県統計課は、基調判断を「足踏みをしている。」とした。

2月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
			原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	105.1	3.4	104.1	▲ 0.4
出 荷	105.1	3.6	102.0	▲ 1.4
在 庫	109.5	3.0	109.9	2.6
在 庫 率	119.1	2.8	119.2	▲ 6.6

資料：兵庫県企画県民部統計課



## 2月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減(%)	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼・非鉄 金属工業	92.1	▲ 0.1	上昇	粗鋼、鋼半製品、普通鋼鋼矢板、伸銅製品
			低下	特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材、亜鉛めっき鋼版、普通鋼中形棒鋼
金属製品 工 業	97.7	6.2	上昇	ワイヤロープ、ガス温水給湯暖房機・風呂がま、石油温水給湯暖房機、PC鋼より線
			低下	鋼管製管継手、橋りょう、スチール・ステンレスシャッター、作業工具
生産用機械 工 業	101.2	1.1	上昇	熱交換器、混合機・かくはん機・粉碎機、コンクリート機械、建設用クレーン
			低下	その他の超硬工具、プレイバックロボット、食料品加工機械、ダイヤモンド工具
汎用・業務用 機械工業	129.3	8.1	上昇	汎用内燃機、油圧機器、機械式駐車装置、工業用計重機
			低下	蒸気タービン部品、ボイラ部品、エスカレータ、アネロイド形圧力計
電気・情報 通信機械 工 業	94.3	14.4	上昇	一般用タービン発電機、電気がま、無線位置測定装置、リチウムイオン蓄電池
			低下	開閉制御装置、非標準油入り変圧器(1万KVA以上)、レーダ装置、搬送装置
輸送機械 工 業	132.5	▲ 8.6	上昇	旅客車、二輪自動車(125ml超)、内燃機関電装品、機関部品
			低下	航空機用発電機部品、駆動伝導・操縦装置部品、船用ディーゼル機関、特殊自動車
窯業・土石 製品工業	95.8	▲ 6.9	上昇	ファインセラミックス(構造材)、ガラス製容器類、せっこうボード、複層ガラス
			低下	無アルカリガラス基板、プレストレストコンクリート製品、セメント、遠心力鉄筋コンクリートパイプ
化学工業	128.0	13.9	上昇	医薬品、二塩化エチレン、苛性ソーダ、塩素ガス
			低下	化粧品、自動車排気ガス浄化用触媒、メタクリル酸エステルモノマー、界面活性剤
食料品工業	93.6	▲ 1.1	上昇	糖類、パン、チーズ、小麦粉
			低下	ビール、しょう油、精米、冷凍調理食品

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

日本百貨店協会がまとめた2月の神戸地区の百貨店売上高は、前年同月比2.7%減の102億72百万円と、4か月連続で前年実績を下回った。月後半に気温の高い日が続き、防寒アイテムが苦戦したのが影響したとみられる。

冬物に比べて単価の低い春物商材は健闘したものの、「婦人服・洋品」が7.1%減、「子供服・洋品」は2桁減。「紳士服・洋品」は前年並みだった。

バレンタイン商戦が好調で、菓子が3.1%増。同協会の担当者は「贈答用だけでなく自分用に買い求める人が増え、各店舗で趣向を凝らした催事が開かれた」と説明する。

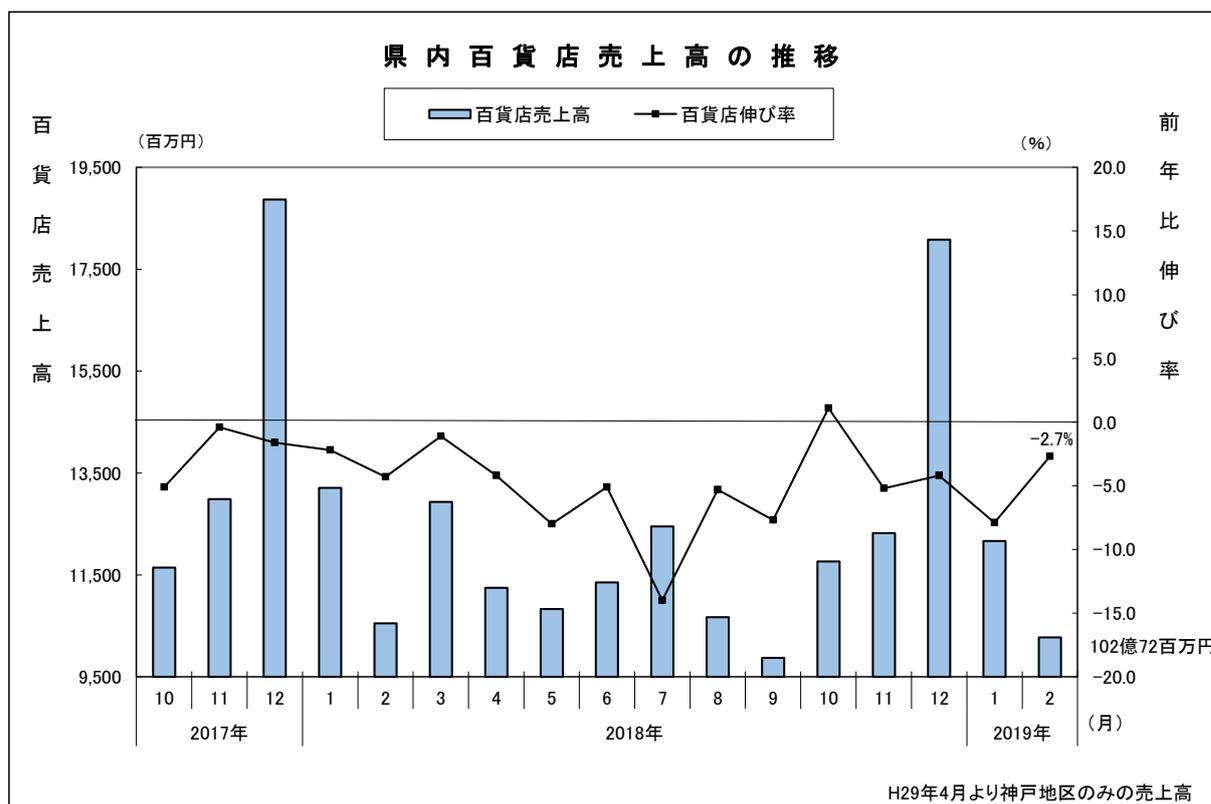
一方、富裕層消費は堅調で、美術・宝飾・貴金属は0.9%増、海外高級ブランドのかばんや靴を含む「身のまわり品」が1.1%増。化粧品も3.1%増だった。

### 2月の神戸地区の百貨店売上高

品 目	売上高	前年同月比
紳 士 服 ・ 洋 品	511	▲ 0.3
婦 人 服 ・ 洋 品	2,932	▲ 7.1
子 供 服 ・ 洋 品	211	▲ 12.5
そ の 他 衣 料 品	179	4.1
身 の ま わ り 品	808	1.1
雑 貨	1,680	0.4
家 庭 用 品	322	▲ 13.3
食 料 品	3,287	▲ 0.3
食 堂 ・ 喫 茶	232	0.3
サ ー ビ ス	49	▲ 1.9
そ の 他	54	24.6
計	10,272	▲ 2.7

※ 単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

資料：日本百貨店協会



## 【個人消費】『新車登録』

県内3月の乗用車新車登録台数は20,842台、前年同月比8.6%減と2か月連続して前年同月の実績を下回った。

3月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は8,702台（前年同月比10.0%減）、小型乗用車は5,476台（同6.5%減）、軽乗用車は6,664台（同8.5%減）、乗用車合計で20,842台（同8.6%減）となった。

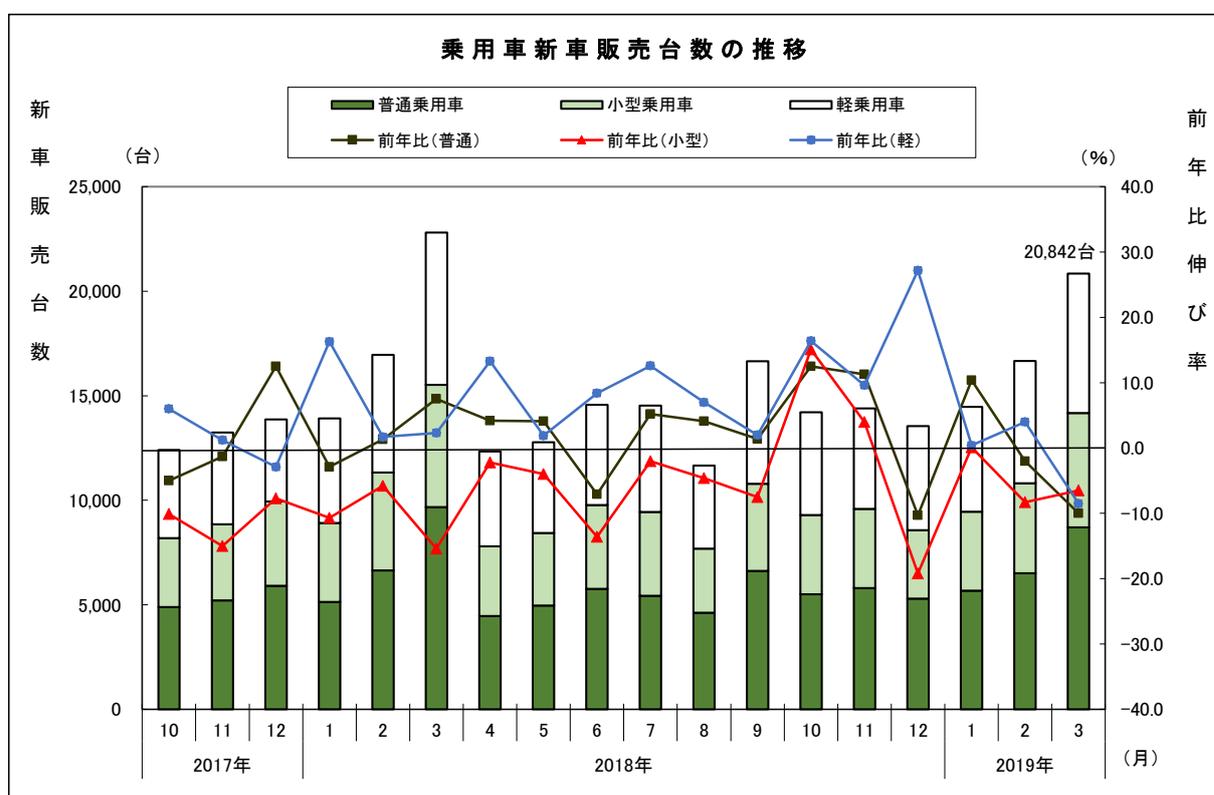
また貨物車等では、普通貨物車は796台（前年同月比4.2%増）、小型貨物車は1,230台（同16.4%増）、軽貨物車は1,708台（同0.2%増）、バスは64台（同82.9%減）となった。

### 3月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	8,702	▲ 10.0	204,379	▲ 5.6
小型乗用車	5,476	▲ 6.5	152,875	▲ 5.8
軽乗用車	6,664	▲ 8.5	175,239	▲ 4.6
<b>乗用車合計</b>	<b>20,842</b>	<b>▲ 8.6</b>	<b>532,493</b>	<b>▲ 5.3</b>
普通貨物車	796	4.2	23,989	1.5
小型貨物車	1,230	16.4	33,663	2.2
軽貨物車	1,708	0.2	48,188	5.8
<b>貨物車合計</b>	<b>3,734</b>	<b>5.9</b>	<b>105,840</b>	<b>3.6</b>
バス	64	▲ 82.9	2,467	▲ 5.4
<b>登録車総計</b>	<b>24,640</b>	<b>▲ 7.7</b>	<b>640,800</b>	<b>▲ 4.1</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が4月10日に発表した機械受注統計によると、平成31年2月実績は以下のとおり。

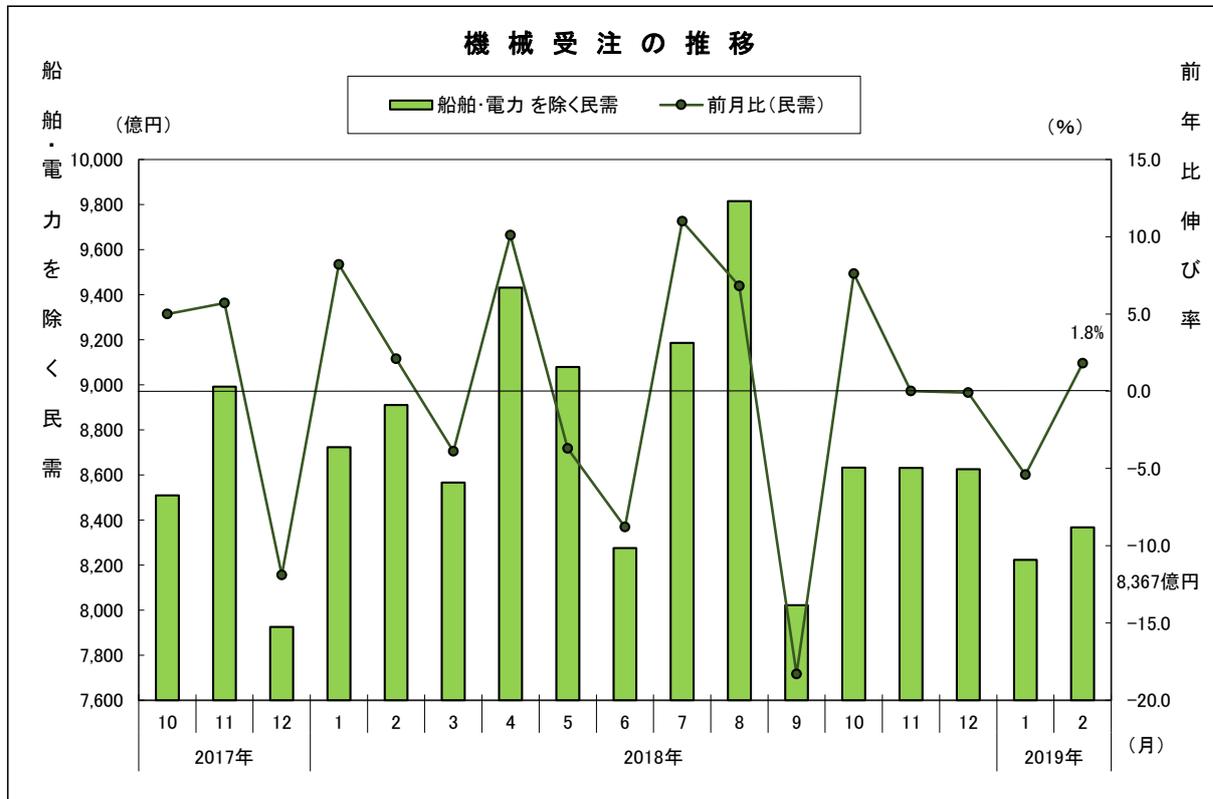
最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成31年1月前月比7.9%減の後、2月は同5.4%増の2兆3,558億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、1月前月比5.4%減の後、2月は同1.8%増の8,367億円となった。

内訳をみると、製造業は同3.5%増の3,881億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同0.8%減の4,510億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、食品製造業(7.8%増)、繊維工業(0.8%増)、石油製品・石炭製品(80.1%増)、金属製品(44.8%増)、電気機械(1.1%増)、情報通信機械(27.3%増)、自動車・同付属品(0.3%増)、造船業(269.3%増)等の8業種で、パルプ・紙・紙加工品(52.2%減)、化学工業(54.7%減)、窯業・土石製品(34.6%減)、鉄鋼業(11.1%減)、非鉄金属(36.0%減)、はん用・生産用機械(3.9%減)、業務用機械(2.2%減)、その他輸送用機械(11.6%減)、「その他製造業」(18.2%減)等の9業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業(16.0%増)、運輸業・郵便業(47.1%増)、通信業(26.2%増)、卸売業・小売業(12.4%増)、金融業・保険業(5.0%増)、不動産業(12.5%増)等の6業種で、農林漁業(1.4%減)、建設業(1.1%減)、電力業(47.5%減)、情報サービス業(26.3%減)、リース業(35.9%減)、「その他非製造業」(2.3%減)等の6業種は減少となった。



## 機 械 受 注 統 計 (平成 31 年 2 月分)

	2018年 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	2019年 1～3月 見通し	2018年 11月 実績	12月 実績	2019年 1月 実績	2月 実績
受注総額	72,029 ( -1.5) [ 4.6]	73,307 ( 1.8) [ 6.3]	74,534 ( 1.7) [ 2.6]	76,364 ( 2.5) [ 4.1]	68,935 ( -9.7) [ -2.9]	25,826 ( -1.7) [ 5.6]	24,259 ( -6.1) [ -1.6]	22,342 ( -7.9) [ -9.1]	23,558 ( 5.4) [ -3.1]
民 需	29,931 ( -4.6) [ 0.6]	32,122 ( 7.3) [ 9.2]	32,515 ( 1.2) [ 5.7]	30,669 ( -5.7) [ -2.0]	31,029 ( 1.2) [ 3.1]	9,665 ( -9.5) [ -7.9]	10,318 ( 6.8) [ -3.0]	10,322 ( 0.0) [ 4.0]	10,208 ( -1.1) [ -4.0]
” (Ex 船・電)	26,152 ( 2.3) [ 0.2]	26,583 ( 1.6) [ 8.0]	26,981 ( 1.5) [ 4.8]	26,126 ( -3.2) [ 2.0]	25,901 ( -0.9) [ 1.9]	8,714 ( -0.1) [ 0.8]	8,692 ( -0.3) [ 0.9]	8,223 ( -5.4) [ -2.9]	8,367 ( 1.8) [ -5.5]
製造業	12,070 ( 0.1) [ 10.6]	12,635 ( 4.7) [ 17.8]	12,507 ( -1.0) [ 8.5]	11,999 ( -4.1) [ -0.6]	11,762 ( -2.0) [ 2.2]	3,997 ( -4.4) [ -0.0]	3,821 ( -4.4) [ -5.3]	3,750 ( -1.9) [ -7.5]	3,881 ( 3.5) [ -9.1]
非製造業 (Ex 船・電)	13,973 ( 2.1) [ -6.9]	14,028 ( 0.4) [ 0.3]	14,498 ( 3.4) [ 2.0]	14,219 ( -1.9) [ 4.5]	14,426 ( 1.5) [ 2.7]	4,679 ( 1.8) [ 1.4]	4,943 ( 5.6) [ 6.5]	4,549 ( -8.0) [ 1.0]	4,510 ( -0.8) [ -2.0]
官 公 需	7,266 ( -3.1) [ -7.8]	7,589 ( 4.4) [ 1.1]	8,945 ( 17.9) [ 19.5]	8,382 ( -6.3) [ 9.3]	6,423 ( -23.4) [ -15.5]	2,628 ( -23.2) [ 5.9]	2,331 ( -11.3) [ -12.2]	2,394 ( 2.7) [ 6.2]	2,446 ( 2.2) [ -3.7]
外 需	30,283 ( -1.8) [ 14.3]	29,974 ( -1.0) [ 5.4]	29,828 ( -0.5) [ -4.3]	32,920 ( 10.4) [ 8.5]	28,675 ( -12.9) [ -4.9]	12,333 ( 17.6) [ 18.6]	10,103 ( -18.1) [ 1.7]	8,277 ( -18.1) [ -22.7]	9,850 ( 19.0) [ -1.9]
代 理 店	3,678 ( 0.6) [ 1.7]	3,783 ( 2.9) [ 0.0]	3,762 ( -0.6) [ 1.8]	3,926 ( 4.4) [ 7.9]	3,783 ( -3.6) [ 5.2]	1,291 ( -3.6) [ 4.2]	1,295 ( 0.3) [ 6.8]	1,279 ( -1.3) [ 6.5]	1,166 ( -8.8) [ -2.4]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内2月の新設住宅着工総数は2,929戸(前年同月比11.4%増)となり前年を上回り、前月比は565戸の増加となった。

また、利用関係別では「持家」が847戸(前年同月比21.3%増)、「貸家」が1,258戸(同38.2%増)、「分譲住宅」が819戸(同19.5%減)となった。

### 2月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	847	21.3	21,992	9.9
・分譲住宅	819	▲19.5	21,190	11.4
貸家系・貸家	1,258	38.2	27,921	▲5.1
・給与住宅	5	25.0	863	40.3
<b>総数</b>	<b>2,929</b>	<b>11.4</b>	<b>71,966</b>	<b>4.2</b>

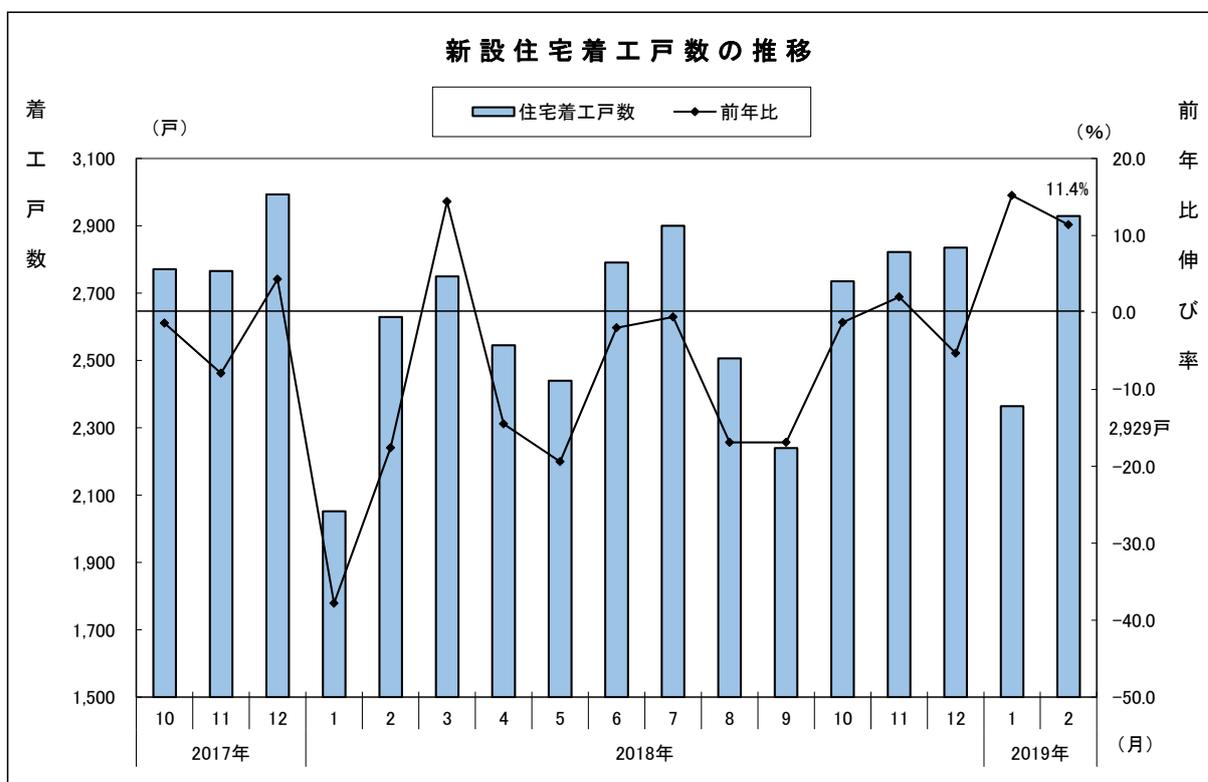
資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

### 2月の地域別着工戸数

(単位：戸、%)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	449	705	237	810	130	356	121	35	56	30	2,929
前月比	▲29.6	43.0	▲24.5	128.8	28.7	9.9	86.2	45.8	330.8	▲21.1	23.9

資料：兵庫県住宅政策課



## 【公共工事】

3月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は319件で前年同月比2.9%の増加、請負金額は235億52百万円で前年同月比21.1%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「その他の団体」前年同月比24.5%、「兵庫県」同0.3%増加したが、「神戸市」同11.2%、「独立行政法人等」同17.0%、「国」同34.0%、「神戸市を除く市町」同58.3%の減少となったため、前年同月比21.1%の減少となった。

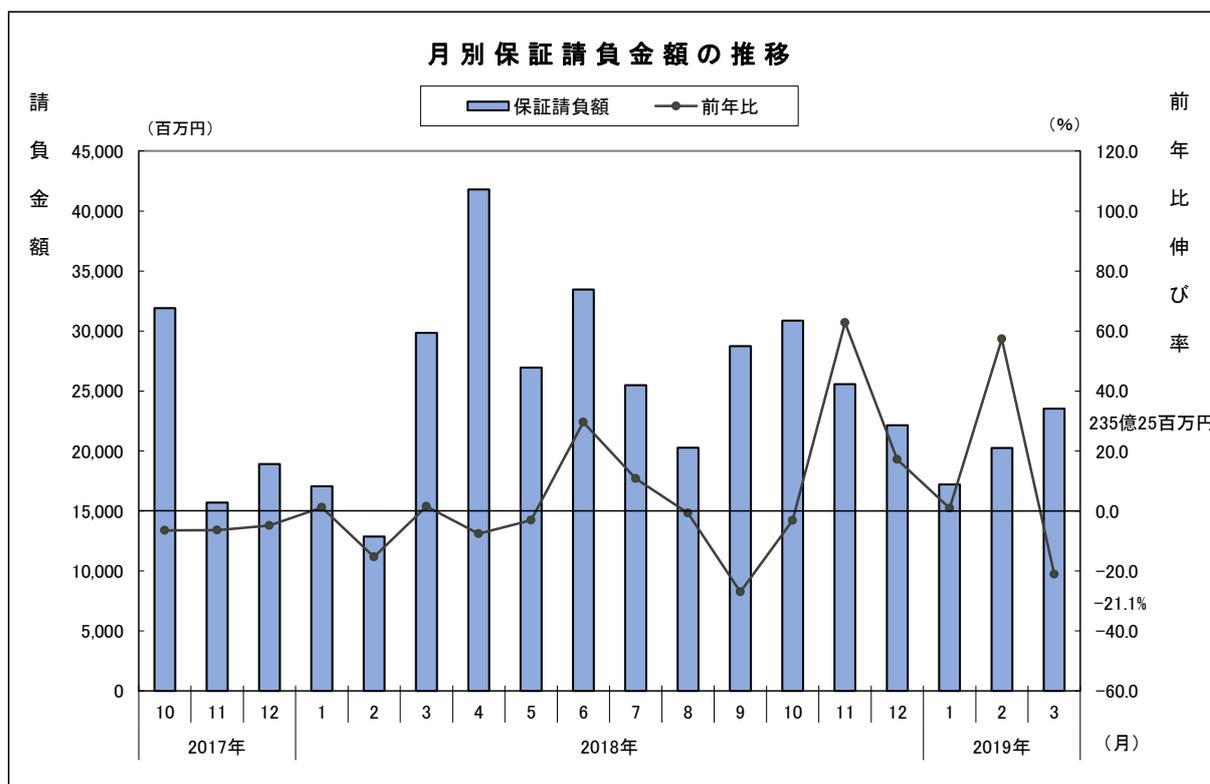
地域別(金額ベース)では、丹波(前年同月比251.4%増)、阪神南(同45.0%増)、淡路(同23.0%増)が増加したが、阪神北(同2.0%減)、東播磨(同15.9%減)、神戸市(同22.3%減)、西播磨(同28.2%減)、中播磨(同45.9%減)、北播磨(同53.9%減)、但馬(同54.8%減)が減少したため、前年同月比21.1%の減少となった。

### 3月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	22(▲4.3)	4,321(▲34.0)	神戸港第五防波堤撤去等工事 他2件
独立行政法人等	9(▲10.0)	752(▲17.0)	中国横断自動車道播磨新宮インターチェンジ工事
兵庫県	144(▲7.7)	5,729( 0.3)	県住第20号県営伊丹野間住宅第4期建築工事 他1件
神戸市	53( 20.5)	5,410(▲11.2)	28A2-074 兵庫区総合庁舎・消防署建設他工事
神戸市を除く市町	65( 6.6)	2,950(▲58.3)	尼崎市モーターボート競走場施設改修事業
その他の団体	26( 62.5)	4,361( 24.5)	西宮市甲子園浜浄化センター電気設備工事その1 他3件
<b>合計</b>	<b>319( 2.9)</b>	<b>23,525(▲21.1)</b>	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成31年3月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は8,337億円、前年同月比1.9%の減少で、総額ベースで2か月ぶりに減少となった。輸出は精油・香料及び化粧品類などが増加したものの、原動機、鉄道用車両などが減少した。一方、輸入は衣類及び同附属品などが増加したものの、医薬品、非鉄金属などが減少した。

輸出は5,612億円(前年同月比1.9%減)と2か月ぶりに減少した。

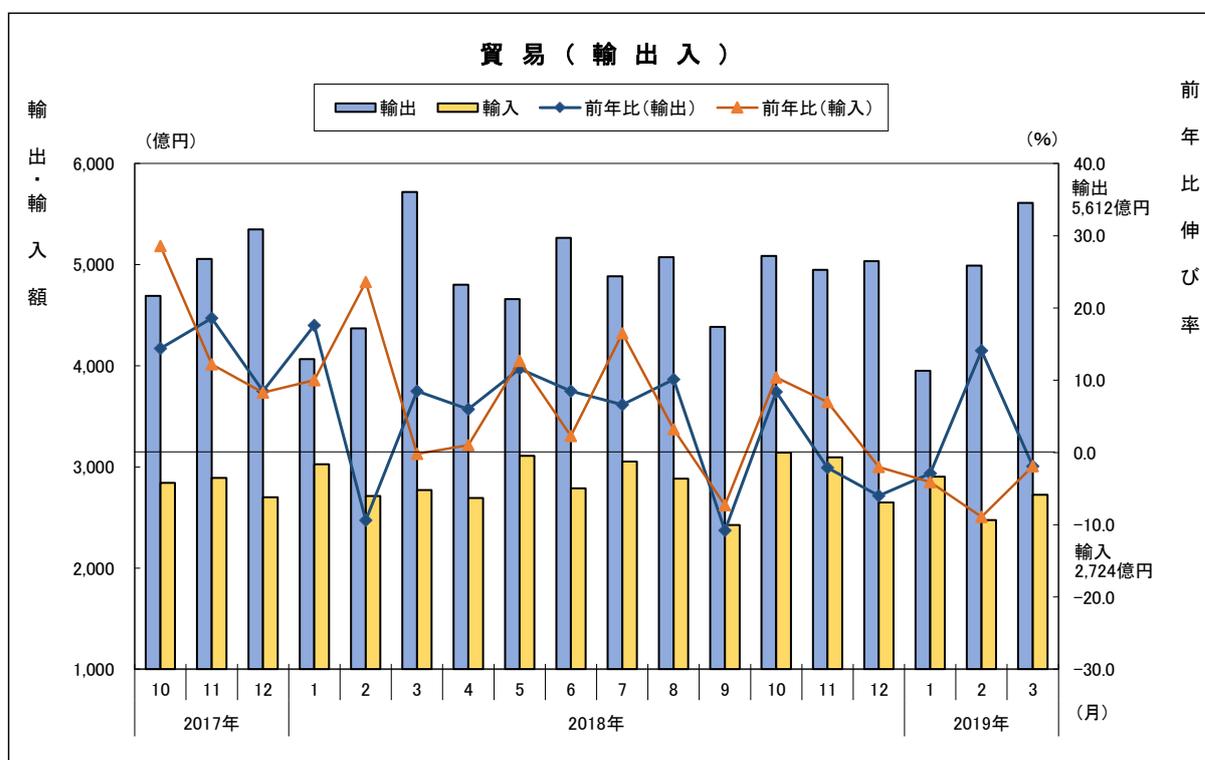
主要品目では、建設用・鉱山用機械(同0.0%減、3か月ぶりにマイナス)、織物用糸及び繊維製品(同3.4%減、2か月ぶりにマイナス)、プラスチック(同5.0%減、2か月ぶりにマイナス)、原動機(前年同月比28.5%減、6か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比7.9%増、3か月連続プラス)、EU(同1.6%増、2か月ぶりにプラス)が増加したが、アジア(同4.4%減、2か月ぶりにマイナス)、中国(同8.1%減、2か月ぶりにマイナス)が減少した。

輸入は2,724億円(前年同月比1.9%減)と4か月連続して減少した。

主要品目では、衣類及び同附属品(前年同月比25.0%増、2か月ぶりにプラス)、有機化合物(同11.4%増、3か月連続プラス)が増加したが、たばこ(同11.1%減、4か月連続マイナス)、非鉄金属(同26.5%減、5か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比18.6%増、2か月ぶりにプラス)、アジア(同13.5%増、2か月ぶりにプラス)が増加したが、米国(同13.7%減、2か月ぶりにマイナス)、EU(同19.1%減、4か月連続マイナス)が減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

3月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が101.2(2015年=100)となり、前月比は0.1%の減少、前年同月比は0.3%の増加となった。生鮮食品を除く総合指数は101.3となり、前月比は0.1%の増加、前年同月比は0.8%の増加となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は101.5となり、前月比は0.1%の増加、前年同月比は0.6%の増加となった。

前月からの動きを見ると、衣料などの増加により「被服及び履物」が0.8%、交通の増加により「交通・通信」が0.2%、ガス代などの増加により「光熱・水道」が0.3%、補習教育の増加により「教育」が0.2%、理美容サービスなどの増加により「諸雑費」が0.1%増加した。

一方、教養娯楽サービスなどの減少により「教養娯楽」が0.9%、野菜・海藻などの減少により「食料」が0.2%、家事用消耗品などの減少により「家具・家事用品」が0.8%、家賃などの減少により「住居」が0.1%減少した結果、総合指数では0.1%の減少となった。

### ○対前月比値上がりした主な品目

- 衣料 ( 3.6%)・・・男子用上着、男子用ズボン(秋冬物)
- 交通 ( 1.1%)・・・航空運賃、料金(JR、新幹線)

### ○対前月比値下がりした主な品目

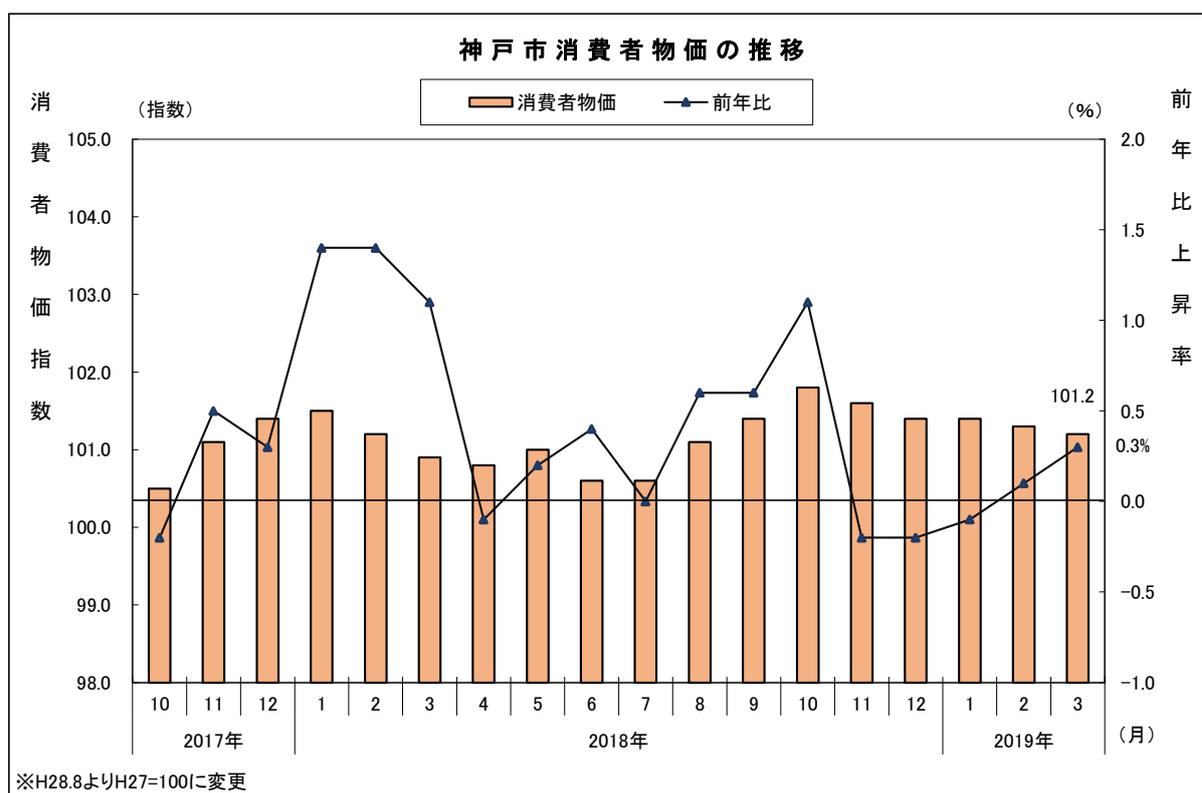
- 教養娯楽サービス (▲1.2%)・・・宿泊料
- 野菜・海藻 (▲3.3%)・・・キャベツ、ねぎ

### 3月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	101.2	103.1	100.6	98.3	98.3	100.2	103.6	99.0	103.4	100.0	103.2	101.3	101.5
前月比	▲0.1	▲0.2	▲0.1	0.3	▲0.8	0.8	0.0	0.2	0.2	▲0.9	0.1	0.1	0.1
前年同月比	0.3	▲0.5	0.3	3.9	1.5	1.6	1.4	▲0.5	0.8	▲0.4	0.9	0.8	0.6

(注)2015年=100

資料：兵庫県統計課



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が4月10日に発表した、企業物価指数(速報)による2019年3月の企業物価指数は次のとおり。

3月の企業物価指数 (速報、2015年=100)

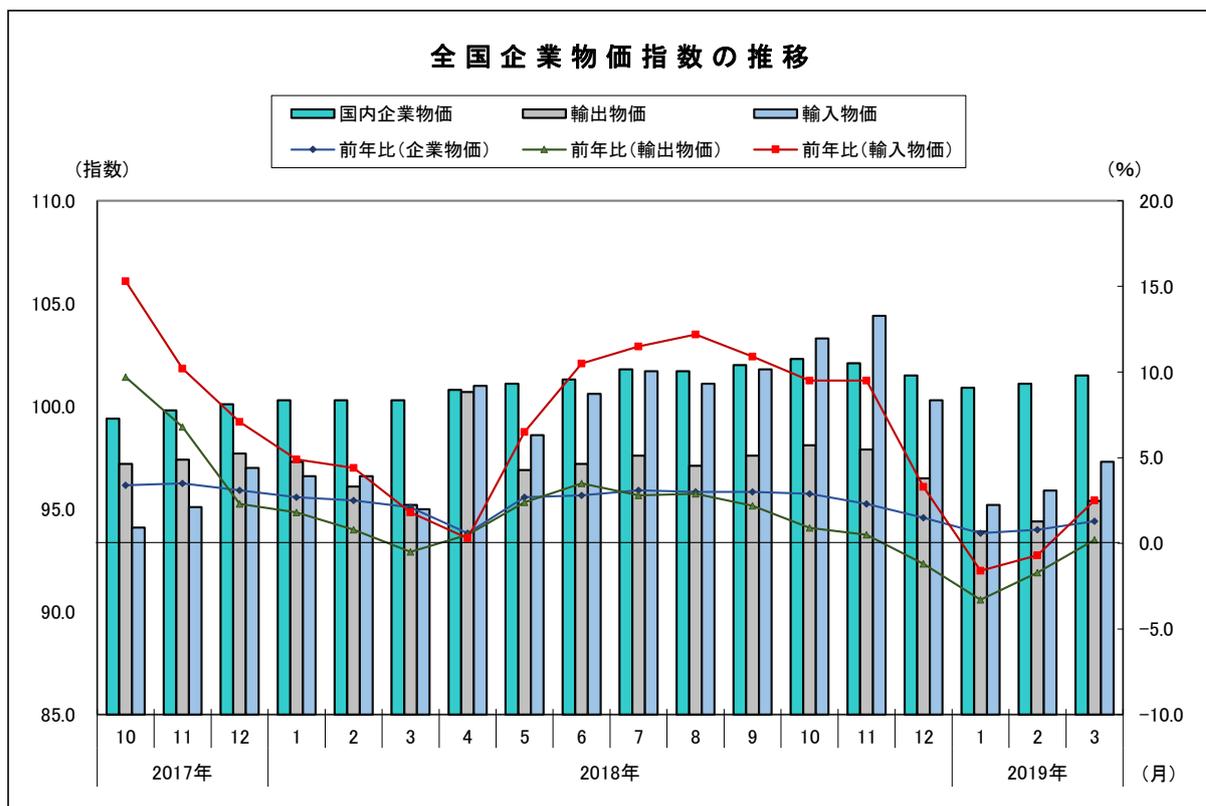
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	101.5	0.3	1.3
輸 出 物 価	95.4	0.8	0.2
輸 入 物 価	97.3	1.6	2.5

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、生産用機器（前月比0.3%減<ロボットなど>）、電子部品・デバイス（同0.4%減<プリント配線板など>）等が減少したが、石油・石炭製品（同2.9%増<ガソリンなど>）、非鉄金属（同1.4%増<銅地金など>）、農林水産物（同0.4%増<鶏卵など>）、電力・都市ガス・水道（同0.2%増<産業用特別高圧電力など>）、スクラップ類（同5.3%増<鉄くずなど>）等が増加し、円ベースでは前月比0.3%の増加（前年同月比1.3%増）となった。

輸出物価は、電気・電子機器（前月比0.1%減<モス型メモリ集積回路など>）が減少したが、化学製品（同2.1%増<パラキシレンなど>）、金属・同製品（同2.5%増<鉄くずなど>）、はん用・生産用・業務用機器（同0.7%増<半導体製造装置など>）、輸送用機器（同0.2%増<駆動・伝導・操縦装置部品など>）、その他製品・製品（同2.0%増<軽油など>）等が増加し、円ベースでは前月比0.8%の増加（前年同月比0.2%増）となった。

輸入物価は、飲食料品・食料用農水産物（前月比0.1%増<コーヒー豆など>）、金属・同製品（同2.3%増<銅鉱など>）、石油・石炭・天然ガス（同3.9%増<原油など>）、化学製品（同0.7%増<合成染料など>）、電気・電子機器（同0.1%増<携帯電話機など>）等が増加し、円ベースでは前月比1.6%の増加（前年同月比2.5%増）となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内2月の新規求人数(全数)は、39,433人(前年同月比1.4%増)で、2か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は107,989人(同1.9%増)で106か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比0.8%増で2か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同1.2%増で2か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同9.6%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比5.1%増)、製造業(同0.6%増)、運輸業、郵便業(同4.6%増)、卸売業、小売業(同7.7%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同21.5%増)、医療、福祉(同0.1%増)、サービス業(同0.6%増)で増加したが、宿泊業、飲食サービス業(同6.8%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同13.1%減)は減少した。

### (2) 求職状況

2月の新規求職申込件数(全数)は16,640件(前年同月比5.7%減)で4か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、68,086人(同3.0%減)で105か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比6.4%減で4か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同4.4%減で4か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比21.4%増で3か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比13.9%減で17か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同7.0%減で2か月ぶりに前年を下回った。自己都合離職者は同2.8%増で3か月連続して前年を上回った。自営・他は同2.3%増で15か月ぶりに前年を上回った。無業者は同11.9%減で86か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、16,319人(前年同月比1.1%増)で8か月連続して前年を上回った。

### (3) 求人倍率状況

2月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が2.24倍(前月比0.03%増)で前月を上回り、有効求人倍率が1.45倍で前月と同水準だった。

### (4) 失業者の状況

2月の全国の完全失業率(季節調整値)は2.3%、完全失業者数(原数値)は156万人(前年同月比10万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は2.7%(前年同月比0.1%減)で、完全失業者数(原数値)は28万人(前年同月比1万人減)であった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉 社	サ ー ビ ス 業
31年2月	39,433	3,330	4,810	282	1,891	4,673	186	801	950	3,230	1,092	10,774	5,182
前年同月比	1.4	5.1	0.6	▲2.8	4.6	7.7	24.8	12.2	21.5	▲6.8	▲13.1	0.1	0.6

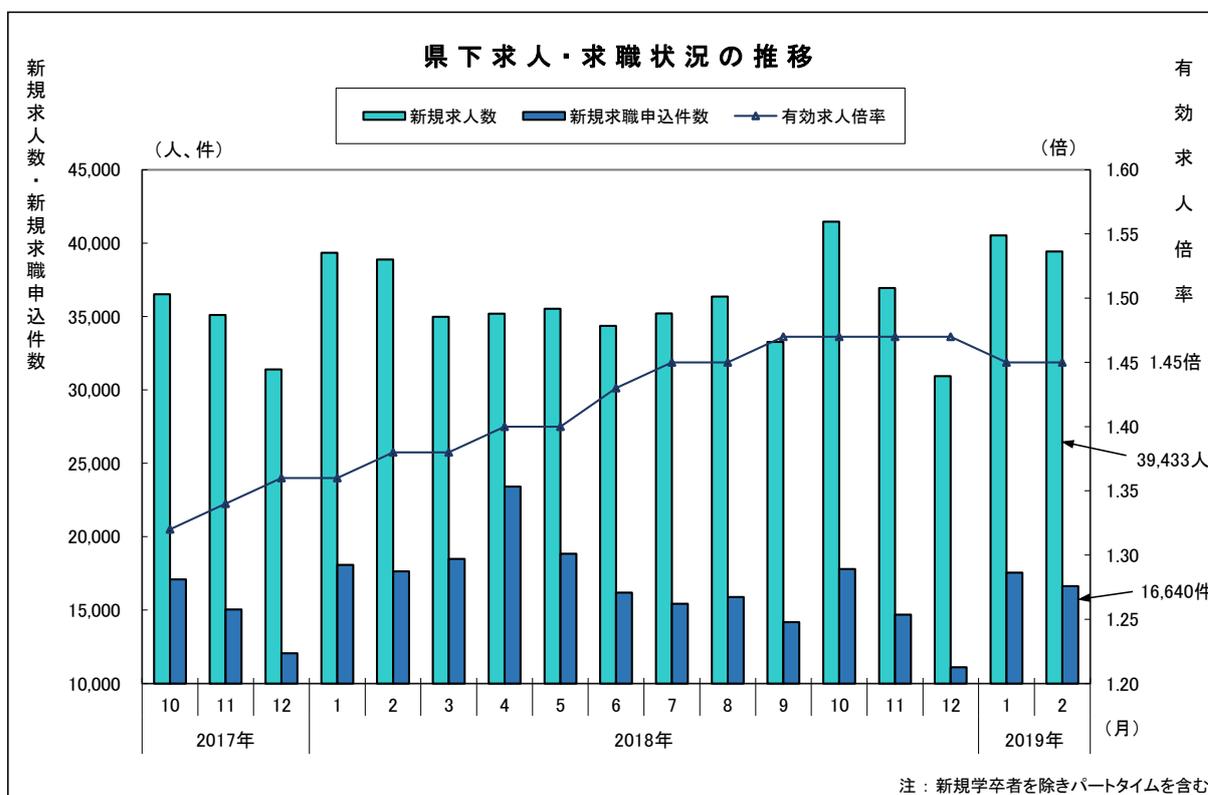
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇用・賃金の推移

項目・年月	18/1-3	18/4-7	18/7-9	18/10-12	19/1	19/2
有効求人倍率 (季調済、倍)	1.37	1.40	1.46	1.47	1.45	1.45
新規求人数 (原数値、前年比%)	5.2	5.9	3.8	5.7	3.0	1.4
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	4.7	9.3	8.0	4.9	0.0	▲1.9
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.3	0.5	0.8	0.4	▲0.1	▲0.1
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	1.2	2.3	1.6	2.0	3.7	1.7

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



## 【信用保証】

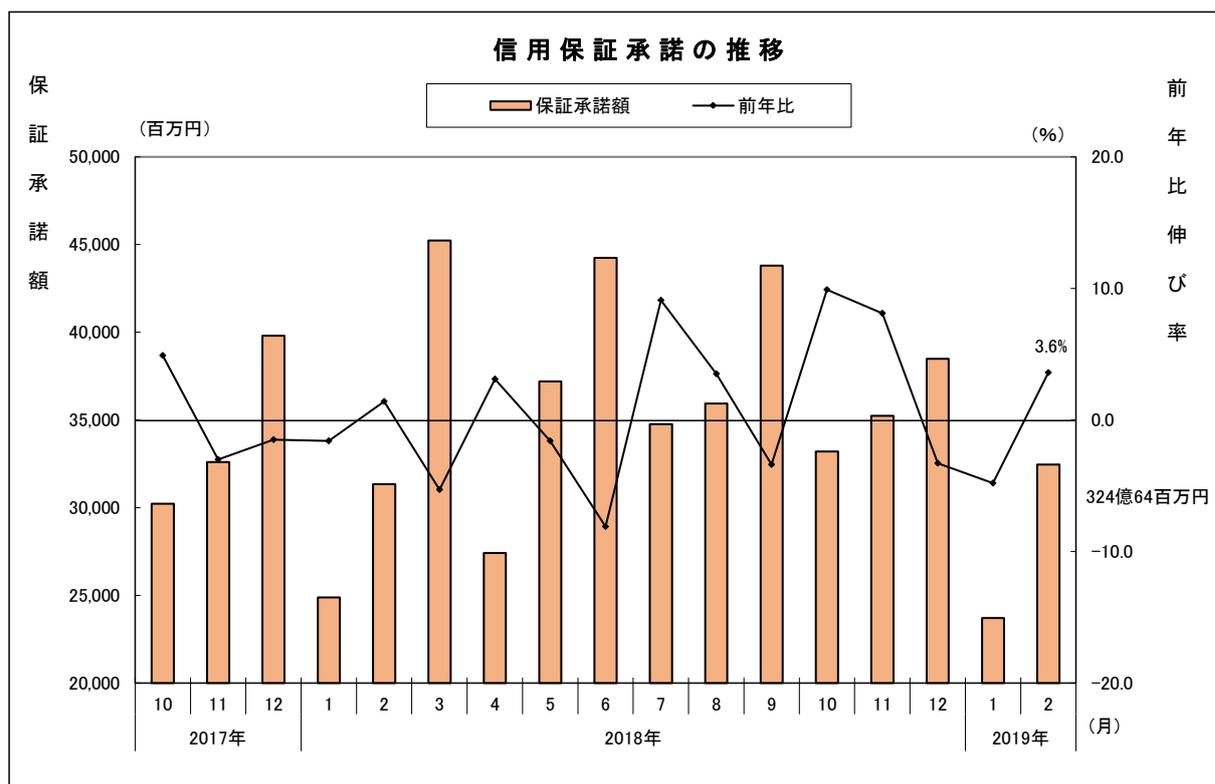
兵庫県信用保証協会による2月の保証承諾は、件数で1,922件(前年同月比0.4%増)、金額は324億64百万円(同3.6%増)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

資金用途別では、運転資金30,222百万円(前年同月比2.0%増)、設備資金811百万円(同39.9%増)となり、前年同月と比べ、運転資金、設備資金ともに上回った。

業種別(金額ベース)では、「運送・倉庫業」1,722百万円(前年同月比49.2%増)、「製造業」5,801百万円(同35.2%増)、「卸売業」5,740百万円(同22.5%増)、「不動産業」1,803百万円(同7.4%増)、「飲食店」734百万円(同2.5%増)で前年同月を上回り、「サービス業」4,738百万円(同5.8%減)、「建設業」7,750百万円(同13.3%減)、「小売業」3,726百万円(同13.5%減)等で前年同月を下回った。

2月末の保証債務残高は、91,670件(前年同月比1.1%減)、1兆945億57百万円(同0.2%増)となった。

一方、同月の代位弁済は、153件(前年同月比8.5%増)、21億84百万円(同51.4%増)となった。



## 【金 融】

2月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

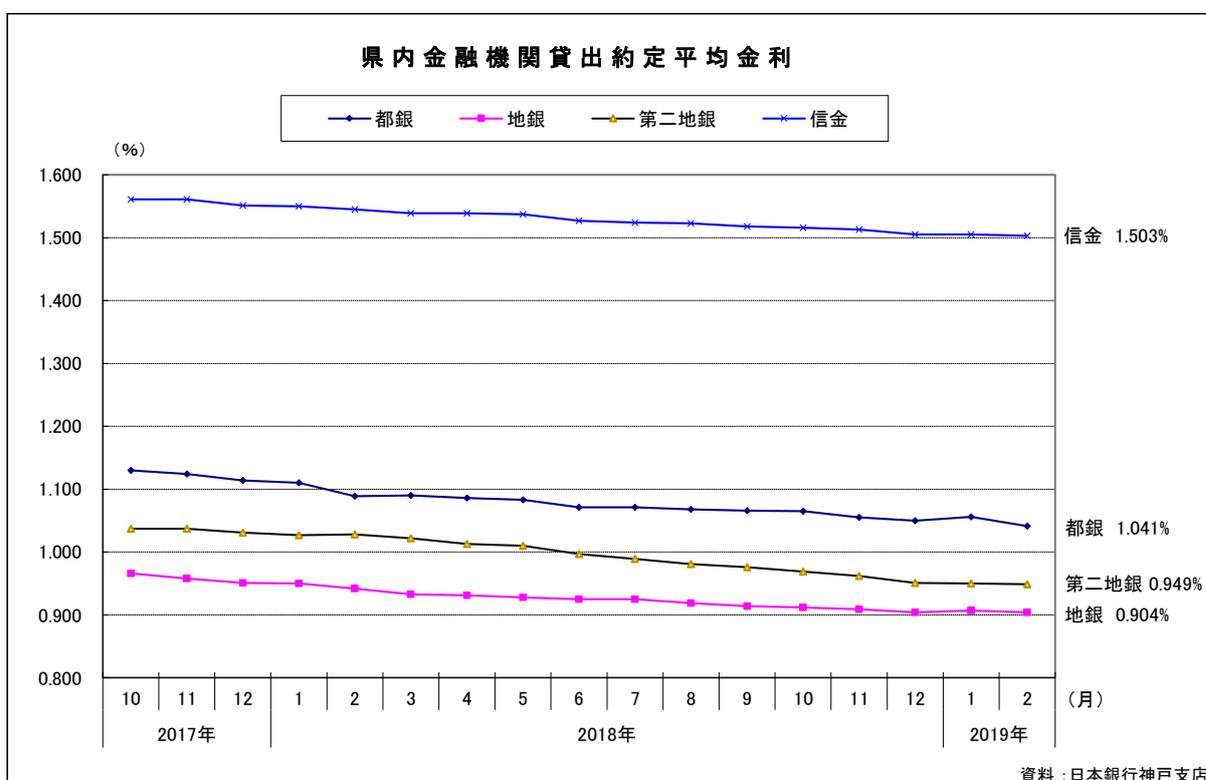
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	169,840	2.9	51,576	▲ 2.9
地 方 銀 行	28,736	2.0	29,736	5.3
第 二 地 方 銀 行	35,713	1.9	24,193	4.5
信 用 金 庫	88,068	0.5	40,118	0.1
そ の 他	18,387	1.5	17,276	▲ 0.1
計	<b>340,744</b>	<b>2.0</b>	<b>162,899</b>	<b>0.6</b>

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

2月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比2.0%増)

2月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比0.6%増)

2月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準1.157%、前月比マイナス0.007%ポイント)。



## 【倒 産】

県内3月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は47件で前月比22件（88.00%）の増加、前年同月比4件（9.30%）の増加となり、負債総額は191億36百万円で前月比156億83百万円（454.18%）の増加、前年同月比158億81百万円（487.89%）の増加となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が37件（全体の78.7%）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が12件（前年同月比8件減少）であった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満の倒産が28件発生し、全体の59.5%を占めた。

2019年3月の倒産件数は、3月単月では過去10年間で5番目の少なさであった。一方で負債総額は、5億円以上の大口倒産が6件発生し、過去10年間で最大となった。

当月も「小規模な倒産」が主流ながら、中規模以上の倒産の発生も増加し負債額を押し上げた。業歴別では業歴30年以上が16件発生し、老舗企業の倒産が目立った。

4月1日には改元に伴う祝福ムードの機運も高まっており、直近ではG20大阪サミット開催、大阪、兵庫を会場としたラグビーワールドカップ開催を控え、国内イベント等公共投資、消費動向への好材料があるものの、日本銀行神戸支店が3月に発表した企業短期経済観測調査は、全産業の業況判断指数（DI）がプラス8となり、中国経済の減速の影響で2期ぶりに悪化となった。更に県内の金融経済概況は「一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに拡大している。」とし、13か月ぶりに基調判断を引き下げた。このような中国情勢等外需依存の経済が国内の消費マインドに冷や水をかけており、消費株（小売・食品等）の下げが目立っている。さらに原料高、人手不足以外にも、今年10月の消費増税が悪化要因となる見方も台頭してきた。これまでのような景気回復一辺倒の状況とは明らかに潮目が変わってきたと言わざるを得ず、倒産動向にも目が離せない。

### 3月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額1,000万円以上）

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	5	▲1	3	1	建設業	4	3	1	6	▲2
過小資本	2	1	1	2	0	製造業	6	3	3	3	3
連鎖倒産	3	1	2	1	2	卸売業	8	3	5	4	4
赤字累積	6	1	5	0	6	小売業	9	4	5	8	1
販売不振	31	16	15	37	▲6	情報通信業	2	0	2	0	2
売掛金回収難	0	1	▲1	0	0	サービス業	12	11	1	20	▲8
その他	1	0	1	0	1	不動産・運輸業他	6	1	5	2	4
合計	47	25	22	43	4	合計	47	25	22	43	4

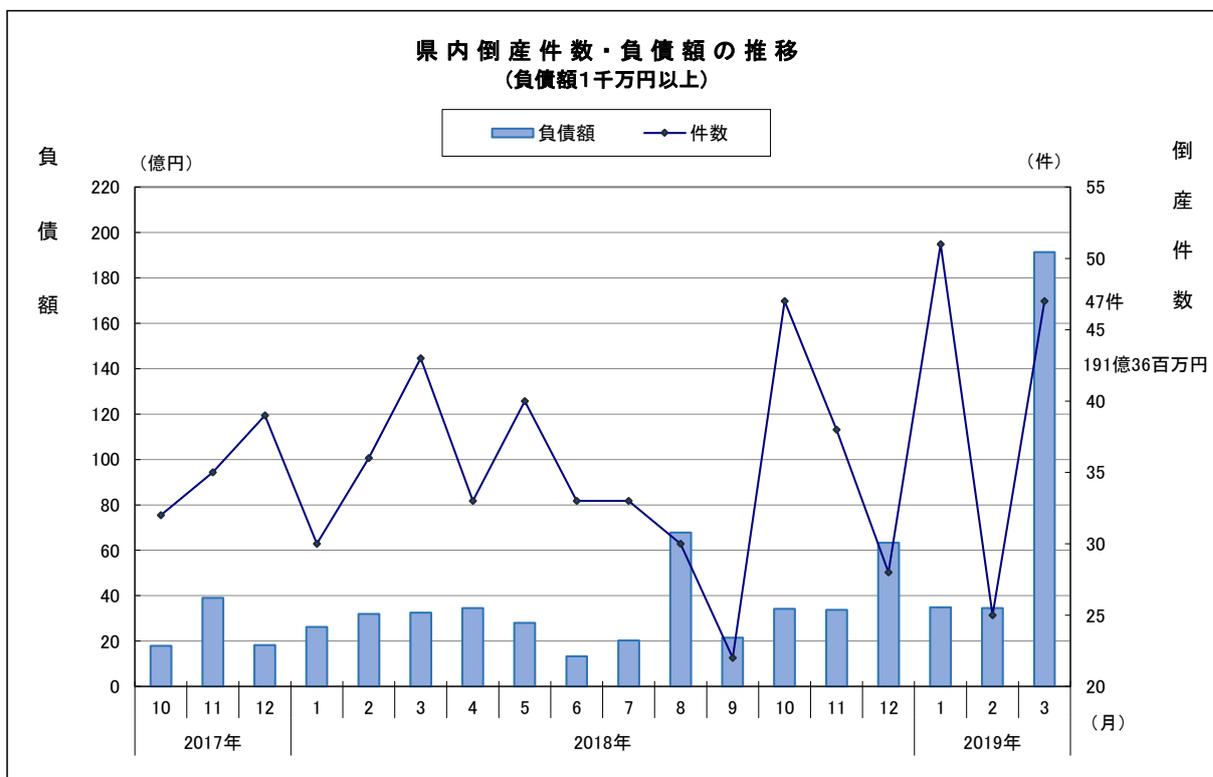
資料：東京商工リサーチ神戸支店

## 県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額 1,000 万円以上）

（単位：件数）

年 月	総 数	神 戸	阪 神	西 播	東 播	但 馬	丹 波	淡 路
25年 平均	44.7	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43.1	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28年 平均	36.1	12.8	12	4.5	4.9	0.8	0.5	0.5
29年 平均	39.9	13.5	11.4	5.3	4.3	1.3	0.5	1.0
30年 1月	30	12	4	6	5	2	0	1
30年 2月	36	18	6	5	5	2	0	0
30年 3月	43	15	16	5	5	1	0	1
30年 4月	33	11	8	7	7	0	0	0
30年 5月	40	17	12	9	2	0	0	0
30年 6月	33	13	6	4	3	3	2	2
30年 7月	33	10	12	6	4	0	0	1
30年 8月	30	11	15	1	2	0	1	0
30年 9月	22	9	7	0	3	1	2	0
30年 10月	47	19	13	7	3	3	0	2
30年 11月	38	21	8	6	1	2	0	0
30年 12月	28	9	4	3	9	0	2	1
31年 1月	51	15	20	8	5	2	0	1
31年 2月	25	9	8	3	4	1	0	0
31年 3月	47	14	23	6	2	1	0	1

資料：東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 平成 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				百貨店売上高			乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)		
	兵庫県 (2010年=100)		全国 (2010年=100)		兵庫県(平成29年3月まで) 神戸市(平成29年4月から)		全国 (既存店)	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	台数 (台)	前年比 (%)	前年比 (%)
29年 4月	103.8	6.8	103.8	4.0	117.4	0.3	1.1	11,695	5.1	10.4
5月	100.8	△ 3.6	100.1	△ 3.6	117.7	△ 3.2	△ 0.6	12,649	12.9	13.4
6月	104.1	2.9	102.3	2.2	119.5	△ 0.5	△ 1.4	15,276	11.6	15.1
7月	96.3	△ 8.5	101.5	△ 0.8	144.7	△ 2.0	△ 0.2	13,775	0.0	2.6
8月	106.4	7.3	103.5	2.0	112.7	0.7	0.6	11,369	7.8	4.1
9月	94.6	△ 11.2	102.5	△ 1.0	106.9	△ 1.8	1.9	16,788	8.0	5.3
10月	103.1	8.4	103.0	0.5	116.4	△ 5.1	△ 0.5	12,413	△ 3.0	△ 1.2
11月	104.3	1.5	103.5	0.5	129.8	△ 0.4	3.6	13,241	△ 4.7	△ 2.7
12月	99.5	△ 5.1	106.5	2.9	188.7	△ 1.6	0.8	13,867	1.5	△ 0.8
30年 1月	97.4	△ 2.2	99.3	△ 6.8	132.0	△ 2.2	△ 0.1	13,913	0.7	△ 1.1
2月	100.7	3.4	102.1	0.0	105.5	△ 4.3	0.3	16,965	△ 0.6	△ 2.8
3月	104.0	△ 1.6	104.1	1.4	129.3	△ 1.1	0.9	22,808	△ 1.0	△ 3.6
4月	102.6	△ 1.5	104.6	0.5	112.4	△ 4.2	1.5	12,334	5.5	2.6
5月	100.4	△ 2.6	104.4	△ 0.2	108.3	△ 8.0	△ 1.2	12,780	1.0	△ 1.5
6月	100.9	0.0	102.5	△ 1.8	113.5	△ 5.1	4.0	14,570	△ 4.6	△ 5.3
7月	97.3	△ 4.0	102.3	△ 0.2	124.5	△ 14.0	△ 5.1	14,531	5.5	3.3
8月	101.4	3.5	102.5	0.2	106.7	△ 5.3	0.6	11,665	2.6	4.0
9月	96.7	△ 4.9	102.9	△ 0.4	98.7	△ 7.7	△ 2.6	16,654	△ 0.8	△ 3.3
10月	106.1	9.5	105.9	2.9	117.6	1.1	1.1	14,216	14.5	11.6
11月	102.6	△ 3.4	104.7	△ 1.1	123.2	△ 5.2	△ 1.1	14,397	8.7	7.4
12月	103.0	△ 0.3	104.7	△ 0.1	180.8	△ 4.2	△ 1.3	13,551	△ 2.3	△ 3.2
31年 1月	97.2	△ 5.4	101.1	△ 3.4	121.6	△ 7.9	△ 3.3	14,472	4.0	0.9
2月	105.1	3.4	102.5	1.4	102.7	△ 2.7	△ 0.1	16,668	△ 1.8	△ 0.1
3月								20,842	△ 8.6	△ 5.3
資料	兵庫県統計課		経済産業省		日本百貨店協会		近畿経済産業局	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会		

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

\* p は速報値 r は確報値

項目 平成 年月	新設住宅着工戸数			公共工事請負金額			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国	輸出		輸入	
	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
29年 4月	2,976	△ 1.4	1.9	452	△ 31.0	1.7	4,531	1.4	2,664	12.6
5月	3,028	36.5	△ 0.3	278	△ 1.8	8.5	4,174	12.9	2,760	14.4
6月	2,848	△ 1.3	1.7	258	△ 42.8	△ 0.6	4,850	8.2	2,726	14.2
7月	2,918	△ 3.8	△ 2.3	230	△ 20.3	△ 5.4	4,585	9.0	2,619	14.7
8月	3,017	6.7	△ 2.0	204	△ 36.9	△ 7.9	4,607	17.5	2,792	20.1
9月	2,696	△ 16.7	△ 2.9	393	△ 0.4	△ 10.4	4,914	17.9	2,615	15.8
10月	2,771	△ 1.4	△ 5.3	319	△ 6.5	3.9	4,691	14.4	2,843	28.6
11月	2,766	△ 7.9	△ 0.4	157	△ 6.4	5.0	5,056	18.6	2,891	12.2
12月	2,993	4.3	△ 2.1	189	△ 4.9	△ 6.4	5,349	8.5	2,701	8.3
30年 1月	2,052	△ 37.8	△ 13.2	170	1.2	△ 12.8	4,067	17.6	3,026	10.0
2月	2,629	△ 17.6	△ 2.6	128	△ 15.3	△ 20.2	4,370	△ 9.4	2,713	23.6
3月	2,750	14.4	△ 8.3	298	1.5	△ 14.5	5,720	8.5	2,772	△ 0.2
4月	2,545	△ 14.5	0.3	418	△ 7.6	5.5	4,801	6.0	2,694	1.0
5月	2,440	△ 19.4	1.3	269	△ 3.1	3.5	4,660	11.6	3,109	12.7
6月	2,791	△ 2.0	△ 7.1	334	29.6	△ 5.6	5,266	8.5	2,788	2.3
7月	2,900	△ 0.6	△ 0.7	254	10.8	△ 2.9	4,886	6.6	3,053	16.5
8月	2,506	△ 16.9	0.3	202	△ 0.7	△ 2.2	5,074	10.1	2,884	3.2
9月	2,240	△ 16.9	△ 1.5	287	△ 27.0	△ 7.6	4,386	△ 10.8	2,425	△ 7.3
10月	2,735	△ 1.3	0.3	308	△ 3.2	9.5	5,086	8.4	3,143	10.4
11月	2,822	2.0	△ 0.6	255	62.8	△ 5.2	4,950	△ 2.1	3,096	7.0
12月	2,835	△ 5.3	2.1	221	17.2	4.6	5,034	△ 6.0	2,648	△ 2.0
31年 1月	2,364	15.2	1.1	172	0.9	△ 4.1	3,951	△ 2.9	2,903	△ 4.1
2月	2,929	11.4	4.2	202	57.3	20.4	4,990	14.1	2,474	△ 8.9
3月				235	△ 21.1	3.7	5,612	△ 1.9	2,724	△ 1.9
資料	兵庫県住宅地課		国土交通省	西日本建設業保証(株) 兵庫支店			神戸税関			

項目 平成 年月	消費者物価指数 (H28.7より2015年=100)				有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)	
	神戸市		全国		兵庫県 (季調値)	全国 (季調値)	全産業 (千人)	前年比 (%)	指数 (22年=100)	前年比 (%)
	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)						
29年 4月	100.2	0.4	100.3	0.4	1.26	1.48	1,055	△ 0.3	103.8	1.7
5月	100.5	0.3	100.4	0.4	1.27	1.49	1,055	△ 0.5	102.0	0.8
6月	100.2	0.1	100.2	0.4	1.30	1.51	1,054	△ 0.8	102.3	1.4
7月	100.3	0.3	100.1	0.4	1.30	1.52	1,056	△ 0.4	101.6	0.0
8月	100.4	0.2	100.3	0.7	1.32	1.52	1,054	△ 0.3	101.7	0.6
9月	100.8	0.8	100.5	0.7	1.30	1.52	1,050	△ 0.5	102.9	1.3
10月	100.5	△ 0.2	100.6	0.2	1.31	1.55	1,052	△ 0.1	103.3	2.0
11月	101.1	0.5	100.9	0.6	1.32	1.56	1,053	0.1	102.9	0.3
12月	101.4	0.3	101.2	1.0	1.36	1.59	1,047	△ 0.4	103.3	1.0
30年 1月	101.5	1.4	101.3	1.4	1.36	1.59	1,066	△ 0.7	104.7	3.4
2月	101.2	1.4	101.3	1.5	1.38	1.58	1,068	△ 0.1	105.0	4.2
3月	100.9	1.1	101.0	1.1	1.38	1.59	1,065	0.2	105.9	3.1
4月	100.8	0.6	100.9	0.6	1.38	1.59	1,075	△ 0.3	108.0	4.0
5月	101.0	0.2	101.0	0.7	1.39	1.60	1,080	0.1	107.1	5.0
6月	100.6	0.4	100.9	0.7	1.43	1.62	1,080	0.2	107.8	5.4
7月	100.6	0.2	101.0	0.9	1.45	1.63	1,077	△ 0.3	106.7	5.0
8月	101.1	0.6	101.6	1.3	1.46	1.63	1,075	△ 0.3	106.8	5.0
9月	101.4	0.6	101.7	1.2	1.49	1.64	1,072	△ 0.1	107.5	4.5
10月	101.8	1.1	101.8	0.8	1.48	1.62	1,072	△ 0.3	108.0	4.5
11月	101.6	△ 0.2	101.5	0.3	1.47	1.63	1,074	△ 0.2	107.2	4.2
12月	101.4	△ 0.2	101.5	0.2	1.47	1.63	1,075	0.4	107.8	4.4
31年 1月	101.4	△ 0.1	101.5	0.2	1.45	1.63	1,065	△ 0.2	107.5	2.7
2月	101.3	0.1	101.5	0.5	1.45	1.63	1,063	△ 0.5	105.3	0.3
3月	101.2	0.3								
資料	兵庫県統計課		総務省		兵庫県労働局		兵庫県統計課			

項目 平成 年月	国内企業物価指数 (H29.1より2015年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末) (億円)	前年比 (%)		全国銀行 (年%)	倒産 件数 (件)	負債 総額 (億円)	地域別倒産件数	
	指数	前年比 (%)			神戸 (件)				阪神 (件)	播磨他 (件)
29年 4月	98.4	2.1	160,035	2.3	0.982	34	27	14	10	10
5月	98.4	2.1	160,253	2.8	0.976	43	48	20	14	9
6月	98.4	2.1	160,054	2.1	0.969	50	31	16	20	14
7月	98.8	2.6	160,032	1.6	0.965	43	44	17	12	14
8月	98.8	2.9	160,027	2.0	0.962	39	19	14	8	17
9月	99.0	3.0	161,682	2.1	0.955	43	22	11	20	12
10月	99.4	3.4	160,424	2.0	0.955	32	17	7	8	17
11月	99.8	3.5	160,904	1.9	0.954	35	38	14	7	14
12月	100.1	3.1	162,274	1.8	0.946	39	18	15	12	12
30年 1月	100.3	2.7	161,275	2.0	0.943	30	26	12	4	14
2月	100.3	2.5	161,910	2.0	0.940	36	31	18	6	12
3月	101.3	1.5	165,094	1.3	0.932	43	32	15	16	12
4月	100.4	2.0	162,625	1.6	0.929	33	34	11	8	14
5月	101.1	2.7	161,836	1.0	0.927	40	28	17	12	11
6月	101.3	2.8	162,911	1.8	0.921	33	13	13	6	14
7月	101.8	3.1	162,277	1.4	0.918	33	20	10	12	11
8月	101.7	3.0	162,402	1.5	0.917	30	67	11	15	4
9月	102.0	3.0	163,555	1.2	0.912	22	21	9	7	6
10月	102.3	2.9	162,278	1.2	0.912	47	34	19	13	15
11月	102.1	2.3	162,909	1.2	0.909	38	33	21	8	9
12月	101.5	1.5	164,383	1.3	0.901	28	63	9	4	15
31年 1月	100.9	0.6	162,895	1.0	0.900	51	34	15	20	16
2月	101.1	0.8	162,899	0.6	0.898	25	34	9	8	8
3月	101.5	1.3				47	191	14	23	10
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

\* p は速報値 r は確報値